

佳作

## おじいちゃんおばあちゃん 長生きしてね

岐阜県 岐阜市立長良東小学校二年 田中 仁晟

ぼくは、夏休みにおじいちゃんの家にとまりに  
行きました。

おじいちゃんは、大人になってからきん肉がなくな  
るびょう気になって体がふじゆうです。左手はま  
ったくうごかせず、右手はゆび先だけが少しうごき  
ます。足にはそうぐをつけていて、車いすにのって  
います。こえはガラガラごえで何を言っているのか  
分からない時があります。かおはいつもおこっている  
ようにギツとしていて、ぼくはこわいなと思って  
いました。

夕方おばあちゃんがりょうりをしはじめたのでぼ  
くもてっだいました。にんじんやじゃがいもをあら  
ってかわをむき、カレーライスをつくりました。お  
さらにつけて、

「おじいちゃんごはんできたよ。」

ともっていき、いっしょにたべました。チラツと見  
るとおじいちゃんが

「おいしい、おいしい。」

とにこにこしながらぼくの方を見ていました。

ぼくはちよつとうれしくなりました。

つぎの日、おじいちゃんとしょうぎをしてあそび  
ました。おじいちゃんのコまはぼくがならべてあげ  
ました。おじいちゃんは、手はうごかせないけれど  
も、頭はすごくよくて、ぼくはまけてしまいました。

「だからやりたくないっていったんだよ。もうおじ  
いちゃんと一生ししょうぎなんてやらない。」

するとおじいちゃんは、とてもかなしそうなおを  
していました。おばあちゃんとさん歩に行ってかえ  
ってきたらおじいちゃんはさっきのばしょにまだポ  
ツンとすわっていました。

「ぼくはちよつとしたことでおこったりないたりさ  
んぼして気をまぎらわしたりできるけど、おじい  
ちゃんは、何十年も長い間いろんなことをがまん  
してきたんだ。びょう気だけじゃなくてぼくのわ  
がままでまたかなしいことをふやしちやいけな  
い。」

ぼくはおじいちゃんのところに行って

「おじいちゃん、さっきはごめんなさい。」  
とあやまりました。おじいちゃんはゆっくりとにっこりとしました。ぼくは、さっきとちがうなみだが  
できてきました。

いえにかえてから、お母さんにおじいちゃんの  
びょう気についてくわしくききました。

ぼくがとつぜん手がうごかなくなったり、歩けな  
くなったらどうなってしまっただろう。すごくふあん  
ですごくかなしいと思う。ふあんやかなしみと長い  
間たたかってきたおじいちゃんは、つよくてかっこ  
いいと思いました。

ぼくは、それからなんでもお手つだいにいきまし  
た。おばあちゃんが

「じんくんがくると、おじいちゃんがとても元気に  
なるよ。じんくんは、たいようだね。」  
といてくれました。

「おじいちゃん、おばあちゃんももっとと長生き  
してね。ぼく、もっともとお手つだいにいくか  
らね。」